

執筆者紹介

邊 恩田……本学大学院博士課程後期課程

岩名 紀彦……同志社女子中学高等学校教諭

田中 馨……本学大学院博士課程後期課程

陶 麗萍……本学大学院博士課程後期課程

李 國勝……本学嘱託講師

武漢大学外国語学院助教

ドナテッラ・アッタナズィオ

……本学大学院博士課程後期課程

編集後記

ひとつの時代が終わりつつある。大きな転換点である。終末の意識はまちがいに漂っている。

そのことは文学研究についてもおなじである。学問の方法が歴史のうちにあるかぎり当然のことである。世界的な視野における文化の一貫として日本文学をみようとするのも時代の要請である。この号に留学生の論考が多いのもそのためであろう。その一方で、文献についての徹底した考察が求められている。単なる情報としてでな

く文献そのものを対象として研究することとは、そのような問いに
中世文学輪読会の仕事は答えようとするものであろう。

いずれにしても、日本文学研究は、他の諸領域と密接に関連しつ
つ、自らの存立基盤を問われつつけることになる。 (廣川勝美)

投稿規定

国文学会機関誌「同志社国文学」は、会員諸氏の研究発表の
場でありますから、進んでご投稿下さい。枚数は四百字詰三十
枚以内。次号締切は一九九四年七月末日厳守。ただし、掲載論
文の数には限度がありますので、論文の採択は編集委員会に一
任して下さい。

同志社国文学 第三十九号

一九九三年十二月十五日 印刷

一九九三年十二月二十日 発行

編集 廣川勝美

発行 同志社大学国文学会

(代表) 加美宏

京都市上京区今出川通烏丸東入

振替 京都九一二七三七

印刷所

共同印刷工業株式会社
京都市右京区西院久田町